

前回からの活動概要	(1) H27年度施策の内閣府執行分の5施策（追加配分2施策）について 期末報告を実施。 各施策の最終成果報告を受け、来年度施策へ反映していく。
平成27年度施策 期末報告	・H27年度施策の期末報告に関する主な議論。 (1) 内1④:次世代都市交通システムの制御性に関する調査 ⇒ バス停へ正着するための位置標定方式の検討とその評価を中心に成果報告があった。 現状の正着制御精度は+5.1cm、-4.0cm。目標値である4cm±2cmまでは達成できなかったが、制御パラメータの最適化により精度の向上が可能が見込まれることから、今年度での改良を行っていく予定。 <指摘事項> カメラと照度の関係やカントを含めた平面でない状況での精度について、指摘があった。今年度の施策に盛り込んでいく。 (2)内1⑤:次世代都市交通システムの速達性・安全性・交通分担率の変革に係る調査 ⇒ PTPSの高度化に向け、車載器の要件整備やシステム構成を検討。シミュレーション検討により有効性等を確認。テストコースでの実地検証を含め成果報告があった。 <指摘事項> 限定されたケースでのシミュレーションなのでもう少し一般解になるようにケースを増やして欲しいが、あくまでもシミュレーションなので凝れば凝るほどパラメーターなどが増えて成果が見えなくなるので良く精査して進めてるべき。 (3)内1⑥:世界標準のアクセシビリティを目指す市民参加型の混雑・渋滞予測に係る調査 ⇒ ロンドンでのオリパラにおける混雑・渋滞緩和に関する市民への情報提供方法、行動誘導方法等、事前の啓発活動等を調査し整理。また、隅田川の花火大会時のビックデータ等を用いてマクロ的およびミクロ的な視点からの解析を日本人や外国人観光客等で行って、経路の混雑の時間帯を明確化。これらを踏まえて次年度以降の実証実験計画の設計・提案を報告 <指摘事項> 混雑時の滞留の受け皿としてのレストランやカフェについてはあまり考えない方がいい。また、東京マラソンなどの既存のイベントをまずはしっかり調査を行って欲しい。イベントによって年齢など属性が変わるのでしっかりと考慮して進めるべき。レガシーとしてどうなるかオリンピックというイベントだけ見ることは無いようにして欲しい。 (4)内1⑦ 公共交通の乗降時間短縮に係る調査 ⇒ 見かけ無料の方法（eNFCなどでの料金収受の可能性について等）と車椅子固縛の方法について成果報告があった。いずれも現時点での候補を調査し、これらについてメリットデメリットで点数をつけて整理を行った。 <指摘事項> eNFC含め整理をもう一度しっかり行って欲しい。後日、JEITAにて打ち合わせ済(3/16) (5)内1⑧ 歩行者移動支援システムの共通基盤研究に係る調査 ⇒ 必要となる情報の整理を行い、活用方法の検討、将来のパーソナルナビ導入に向けた課題抽出を行った。また、実地フィールドでの将来に向けた実証実験計画について検討を行った。 <指摘事項> 地図との連携をしっかりと行って欲しい。